

『未来へつなぐ』

学校長 富田 哲浩



11月を迎えました。澄んだ青空と街路樹の紅葉が秋本番を引き立たせております。

この好季節に、平成30年度最後の学校説明会・創造科学科説明会を開催しましたところ、500名を超える中学生とその保護者の皆様にお越しいただきました。多くの方に学校紹介をお聞きくださり感謝いたします。

その場でもご挨拶申しましたが、本校は「自由闊達」と表現できる伝統ある学校です。いきいきとした高校生活を自らつくりあげる学校です。自身の未来の扉を開けるために来ていただけることを願っております。

さて、今年度を振り返っていきます。

今年最大の行事は「縁を繋ぐ、未来へ繋ぐ」を基本コンセプトとした創立110周年記念式典と関連事業の実施です。式典当日5月5日は朝から雲一つない青空が広がり、六甲の山々もこうべの海も輝いていました。改めて武陽会の強運を感じつつご来賓ご出席の皆様をお迎えしましたが、どなたも満面の笑顔で来場され110周年を祝福していただきました。吉永陽一先生指揮の吹奏楽部演奏「高校祝典序曲」に始まり、記念式典では井戸敏三知事の祝辞、所蔵絵画寄贈式、情報工学の権威である金出武雄氏の記念講演がありました。そして名司会の脇浜・阪本コンビが楽しく盛り上げた武陽まつりでは先輩後輩が協力しての部対抗クイズ大会などが行われました。ポートピアホール全体が笑いと歓声に包まれ大家族会のような感じでした。この日、縁は繋がり、ご参加の皆様にはご満足いただいたと思います。諸事業の企画・運営にご尽力いただいた皆様にはたいへんお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

ご参加いただきました皆様にお尋ねしたいのは、お迎えした現役生徒の印象は如何だったでしょうか。2年前より学校では110周年を迎えるあたり、「日頃応援して下さる皆様に胸を張って在校生を披露する」ことを目標として教育活動に取り組んで参りました。皆様からの評価はいささか心配ではありますが、今後も生徒・職員の力を併せて精進いたします。なお、この度の110周年では「ふるさと納税」の寄付金を、式典・講演関係費に加え、記念事業として講

堂空調設備、「神戸二中の校旗復刻」、体育館の「トレーニング機器の充実」を行いました。110周年を契機に教育環境が飛躍的に充実しました。

次に、本年も文科省指定のSGH校として、創造科学科と普通科の科目選択者を中心に、海外研修（イギリス、ベトナム）や長田区と本校が連携協定（神戸市初）を締結して協力して進めるユニークなまちづくりの取組等が全国に情報発信されています。また、SGH関係事業が際だっている状況にあります。実際には普通科を含めた学校全体で21世紀の有為な人材を育てる「キャリア教育」を展開しています。教育理念を『兵庫高校は決して指示まち人間は作らない。』とし、主体的に考え、自主的に行動する生徒の育成を10年間取組んで参りました。具体には、様々な分野で活躍されている方を講師として招く「キャリアサポーターから話しを聞く会」、京阪神の「大学説明会・研究室訪問」、1年生全員が神戸大学で希望する学部授業を受ける「キャンパストライアル」、首都圏の大学や研究機関・大手企業を訪問する「東京みらいフロンティアツアー」など、生徒が自分の進路を切り開くための取組を行っています。そして、これらの取組や生徒の感想をまとめた冊子「未来は“わたし”がつくる」を作成し、本校新入生、オープンハイスクールや学校説明会に来校された三千余名の中学生・保護者に配布することで、兵庫高校の教育の姿を紹介しました。本校進路指導の中身の濃さを知っていただければ幸いです。

また本校では、大学進学のための教科学習に加え、長田区のまちづくりに積極的に関わり、高齢者や外国人に対する思いやりの心を育て、高校生を中心にした地域の祭りの企画運営を通してリーダーシップ磨いています。このように国や県の要請に応え、時代を切り拓く人づくりを進めているところ、創立110周年もあって、毎日新聞の企画「わたしの母校」（全8回）で本校が取り上げられました。10月23日の記事に、兵庫県公立高校の学区は16から5に再編され、より広い地域からの進学が可能になるなか、兵庫高校は創造科学科を新設するなど伝統を超えモデルチェンジに取組んだことについて、同窓会元理事長から「公立高校も激しい競争時代に入りました。兵庫高校は時代に対応して、魅力ある存在で有り続けると信じています。」と、本校の先進的な取組に対する評価と激励を頂戴しました。引き続き学校発展に精励して参ります。

結びに、部活動は今年も全国大会や近畿大会に出場するなど、着実に実力を向上させています。部活動を通して生徒は「質素剛健・自重自治」を身につける努力をしています。時代は変化しても、心と体を鍛錬し四綱領の精神を宿す古くて新しい兵庫高校を未来に繋いで参りますので、多くの皆様のご声援をよろしく願いいたします。